uchie
おもいやりをかたちに

ウチエのシャワー車椅子

シャワーラク

ウチエのシャワー車椅子

シャワーラク4輪自在

ご使用のしおり

シャワーラク
品番：SWR-100（O型穴有りシート）
SWR-101（O型穴無しシート）
SWR-102（U型シート）
SWR-103（メッシュシート）

シャワーラク4輪自在
品番：SWR-130（O型穴有りシート）
SWR-131（O型穴無しシート）
SWR-132（U型シート）

最大使用者体重
80kg 以下

このたびは、弊社の『シャワーラク』『シャワーラク4輪自在』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

・ご使用になる前には、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
・本書は必ず保管しておいてください。
・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。
・お買い上げのシャワー車椅子は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

各部名称

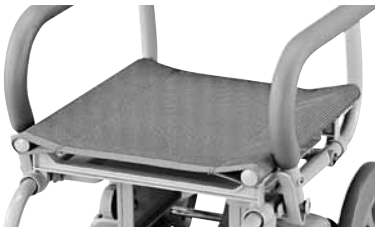
シャワーラク

付属品 ・ご使用のしおり（本書）
・＋ドライバー（＃3）

シャワーラク4 輪自在

アルミ取付板　O型穴無しシート

O型穴無しシート（ウレタン+取付板）



メッシュシート

仕 様

材　　質	本体/アルミ、ステンレス・座シート/発泡ウレタン、ナイロンメッシュ（メッシュシート）・背シート/ナイロンメッシュ	
重　　量	シャワーラク	シャワーラク4輪自在
	約 11.5kg	約10.5kg
車　　輪	前輪／5 インチ ・後輪／10 インチ	全輪／5 インチ

サイズ

単位：cm

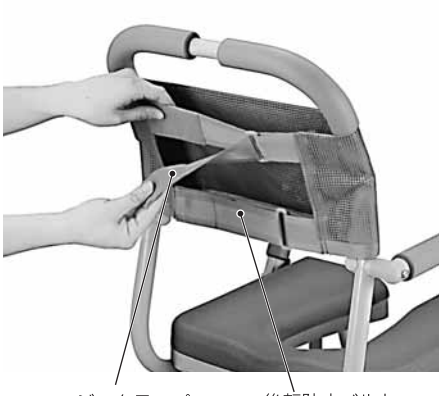
	シャワーラク				シャワーラク4輪自在		
	SWR-100	SWR-101	SWR-102	SWR-103	SWR-130	SWR-131	SWR-132
幅	46						
奥行※（　）は短奥行	87（70.5）				89.5（75.5）		
奥行（フットレストなし）	58.5				65		
高さ	84～92（2cm 刻み、5段階）						
前座高	39.5～47.5	38～46	40～48		39.5～47.5	38～46	40～48
後座高	38～46	36.5～44.5	38.5～46.5		38～46	36.5～44.5	38.5～46.5
座幅（肘～肘）	39						
座奥行	40						
肘から前座	20	21.5	19.5		20	21.5	19.5
前座から足台 ※（　　）は短奥行	30.5/33/35.5 （24.5）	29/31.5/34 （23）	31/33.5/36 （25）		30.5/33/35.5 （24.5）	29/31.5/34 （23）	31/33.5/36 （25）

ご使用にあたって

·室内専用です。屋外では使用しないでください。
·強い衝撃を与えると、塗装がはがれますのでご注意ください。
·温泉の泉質によっては、塗装がはがれたり、樹脂の劣化や金属部の腐食が発生し、破損、けがの原因となりますので、ご注意ください。
·入浴剤入りのお湯をかけると、車輪の回転などの動きが悪くなる可能性があります。
·お肌の敏感な方は、背シートやメッシュシートの上にタオルなどを敷いてご使用ください。
·シャワー浴用に設計されています。浴槽に沈めての使用（中間浴）はしないでください。腐食による破損、けがの原因となります。

背シート調節の仕方

·背シートの張り具合を調節できます。ご利用者の身体状況に合わせてご使用いただけます。
1.2本のマジックテープを外し、背シートの張り具合を調節します。
2.マジックテープをしっかりと貼り合わせてください。



⚠注意

※背シートを取り外して使用しないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
※後転防止ベルトは取り外せません。
※マジックテープを確実に固定してください。貼り合わせが不十分だと背シートが外れ、ご利用者が転倒、けがをするおそれがあります。
※マジックテープに糸くずや汚れなどがついた場合は、取り除いてください。
※マジックテープを頻繁に取り外さないでください。接着力が弱まり、不意に外れ、転倒、けがをするおそれがあります。
※マジックテープの接着力が弱まった場合は使用を中止し、背シートを交換してください。
※お手入れをされていても、カビが発生する場合があります。
※アイロン、乾燥機の使用はおやめください。

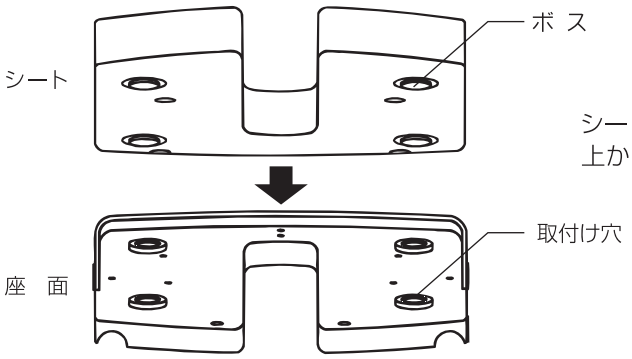
座シートの取扱い方

座シートの取り付け方

O型穴有りシート、O型穴無しシート、U型シートは入れ替えてご使用いただけます。

O型穴有りシート（ボスあり）　U型シート（ボスあり）　O型穴無しシート（ボスあり）

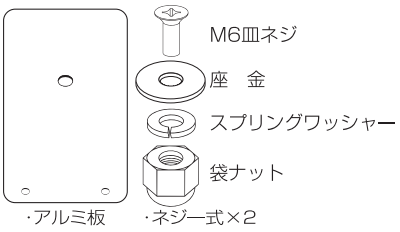
●O型穴有りシート·U型シート



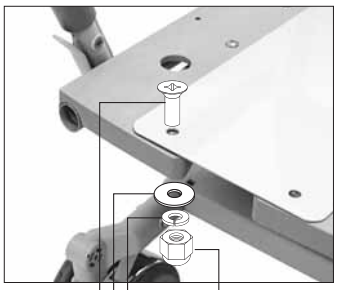
シートを取り付ける際は、シート裏面のボスを座面の取付け穴に合わせ、上からしっかりと押しつけてください。

座シートの取り付け方

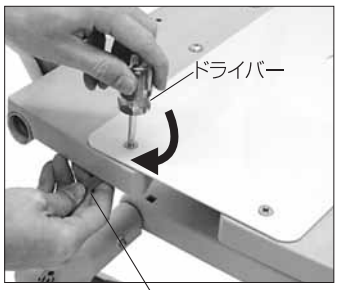
●O型穴無しシート
穴無しシートを取り付ける際は、最初にアルミ板を座受けにネジで固定します。
1.アルミ板のネジ穴と座受けの取付穴を合わせて、アルミ板を座受けにのせます。(写真①)
2.皿ネジを上から通し、裏側から座金、スプリングワッシャーをネジに通して袋ナットで締め付けてください。(写真②③)
(＃3の+ドライバーと＃10のスパナを使用して締め付けてください。)
3.穴無しシート裏面の凸部を穴に合わせ、上から押して取り付けてください。(写真④)



写真①



写真②



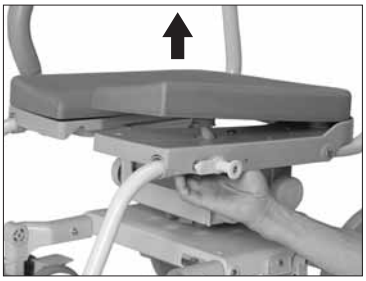
写真③

写真④

⚠注意
※ 頻繁にシートを取り外さないでください。シートを何度も外されると、裏面の凸部が破損するおそれがあります。
※ アルミ板が座受けに固定されているか確認をしてください。
※ シートがしっかり固定されているか確認してから使用してください。転倒、けがをするおそれがあります。

座シートの取り外し方

座面の裏側からシートを押して、取り外してください。



⚠注意
※ 頻繁にシートを取り外さないでください。シートを何度も外されると、裏面の凸部が破損するおそれがあります。
※ シートを取り外す時は、必ず座面の裏側からシートを押して、取り外してください。
※ シートを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。シートが裂ける場合があります。

アームレストのはね上げ方

1.肘ロックの上部を押す。

2.ロックを解除する。

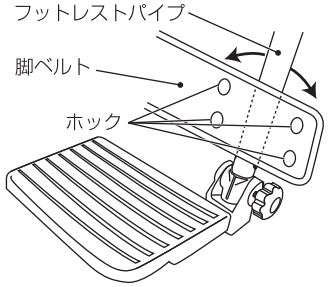
3.はね上げる。

・アームレストを降ろすと肘掛け受けにはまり、ロックされます。

⚠注意
※使用時には必ず「肘ロック」をロックしてください。ロックがされていないとアームレストが外れ、転倒、けがをするおそれがあります。
※ご利用者を乗せたまま、アームレストを持って移動しないでください。「肘ロック」が破損し、転倒、けがのおそれがあります。
※アームレストをはね上げ・ロックする時は、指や体がはさまれないようにしてください。
※はね上げた肘掛けは後方へ回転しますので、よりかからないでください。破損、転倒、けがのおそれがあります。
※固定した肘掛けの先端を内側から強く押さないでください。「肘ロック」が肘掛け受けから外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。

脚ベルトの取り扱い方

・脚ベルトは取り外し可能です。ご利用方法に合わせて着脱してください。
1.ホックを外すと、脚ベルトが取り外せます。
2.取り付ける際は、脚ベルトをフットレストパイプに同じ高さに巻き、ホックを留めてください。



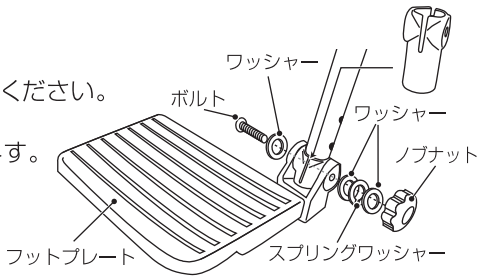
フットプレートのはね上げ

・フットプレートは横にはね上げ、後方に回転させる事ができます。移乗の際にじゃまになりません。

⚠注意

※乗り降りされる際は、必ずフットプレートをはね上げてください。フットプレートの上にのって乗り降りをすると、転倒、破損の原因となります。

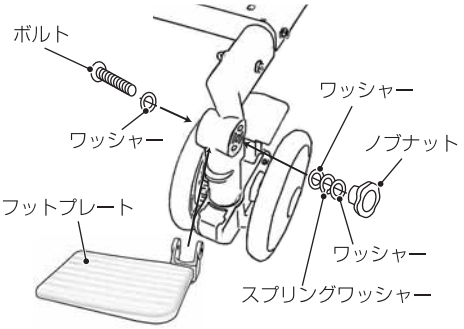
フットプレートの高さ調節



・フットプレートは3段階の高さ調節ができます。ご利用者の足の長さに合わせてご使用ください。

1.ノブナットをゆるめて外し、ワッシャー（計3枚）、スプリングワッシャー、ボルトを取り外す。
2.高さを調節し、ボルトにワッシャーをつけて通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、ワッシャーを入れ、ノブナットをしっかりと締めてください。

短奥行仕様



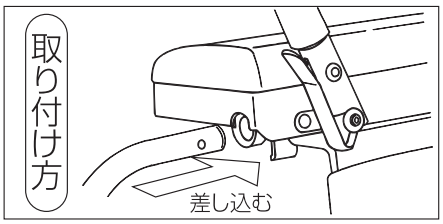
・フットプレートを前輪上部に付け替えて、奥行きを短くできます。（短奥行仕様）

1.フットプレートをパイプから取り外す。
2.前輪上部にフットプレートをつけ、ボルトにワッシャーをつけて通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、ワッシャーを入れ、ノブナットをしっかりと締めてください。

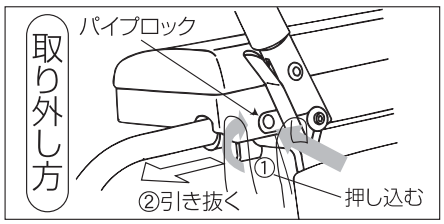
フットレストパイプの取り扱い方

・フットレストパイプは取り外し可能です。
ご利用方法に合わせて着脱してください。

※フットレストパイプ着脱の際は、脚ベルトを取り外してください。
※フットレストパイプを取り付けた際は、引っ張ってもパイプが抜けないか確認をしてください。



フットレストパイプをカチッと音がするまで差し込んでください。
パイプを少し回転させながら差し込む、もしくはプッシュボタンを押しながら差し込むと、入りやすくなります。



①パイプロックを内側と外側から指で挟んで押し込みます。
②押し込んだまま、フットレストパイプを引き抜きます。

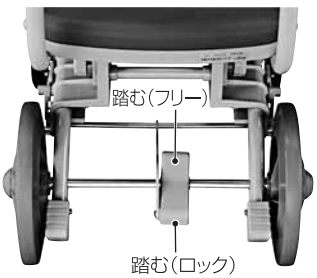
車輪の固定、解除

5インチダブルキャスター
・ストッパーを踏むとロックがかかります。
・ストッパーを上げるとロックが解除（フリー）します。

10インチ車輪
・ペダルの手前を踏むとロックがかかります。
・ペダルの奥を踏むとロックが解除（フリー）します。

5インチダブルキャスター

10インチ車輪



前輪の浮かせ方

シャワーラク

・前輪を浮かせる事で、段差が乗り越えやすくなります。

1.ティッピングレバーに足を当てる。
2.ハンドルを手前に引き寄せると、前輪を浮かす事ができます。

⚠注意

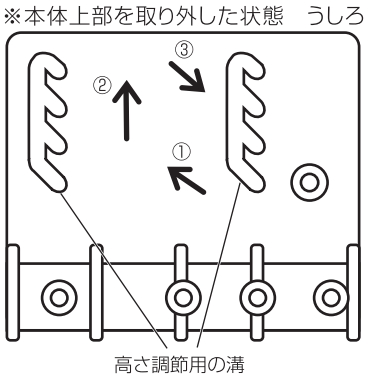
※10cmを超える段差では使用しないでください。
※シャワーラク4輪自在は、段差のあるところでは使用をしないでください。

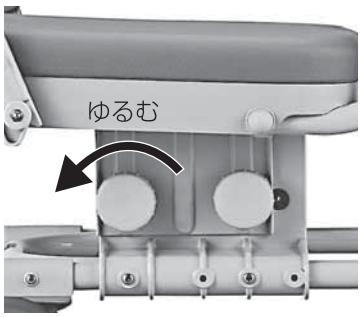
座面の高さ調節の仕方

・座面の高さは、5段階（2cm刻み）の調節ができます。
・4段階まではスライドで、5段階目はネジを付け替えて調節します。

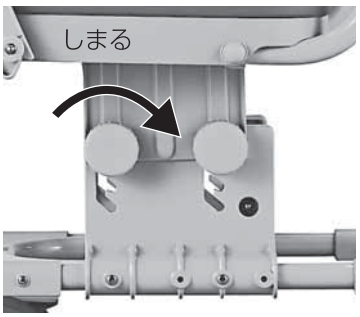
4段階調節方法

1.4 つのノブナットを取れない程度に十分にゆるめてください。（写真①）
2.座面をスライドさせて高さを調節し（①～③）、4 つのノブナットをしっかりと締めてください。（写真②）





写真①



写真②

5段階目調節方法（座面最高高さ）

・高さ調節ネジを下の調節穴に付け替えると、さらに座面が2cm上がります。

※ネジは1ヶ所ずつ付け替えてください。

1.座面をスライドし、4段階目まで高さを調節します。
2.ノブナットを取り外し、座金（小）2個、ばね座金、座金（大）、高さ調節ねじを取り外します。
3.座金（大）を通した高さ調節ねじを下の調節穴（図1）に付け替え、座金（小）、ばね座金、座金（小）を外側からねじに通し、ノブナットを仮締めします。（4ヶ所、写真①）
4.もう1段階座面をスライドさせます。（写真②）
5.ねじ頭に＋ドライバー（#3）を当てて固定し、ノブナットをしっかりと締めてください。（4ヶ所、写真③）

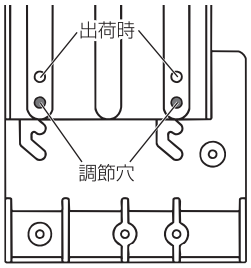
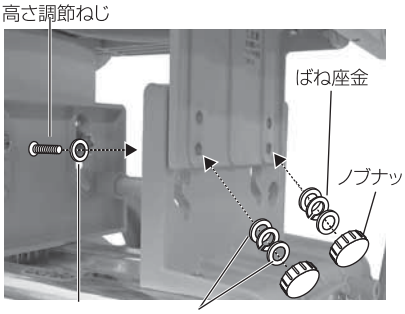
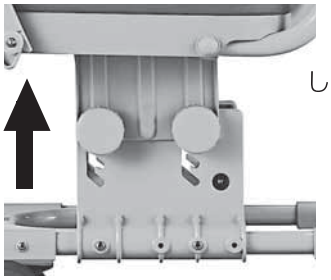
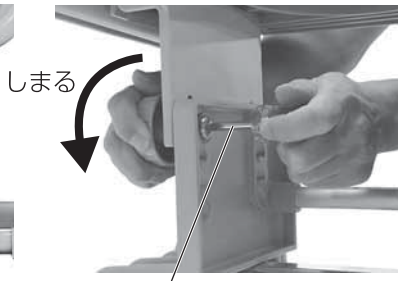


図 ①



写真①


写真②



写真③

⚠注意

※高さ調節後は＋ドライバーを使用し、必ずノブナットをしっかりと締めてください。
※高さ調節ねじは、4本とも同じ位置で締め、座面高さが同じになるようにしてください。
※ご利用者が座面に座った状態での高さ調節はできません。
※高さ調節ねじのゆるみが弱いまま調節を行うと溝が削れる場合があります。

お手入れの方法

・ご使用後は、石けんやシャンプー、入浴剤などを洗い流してください。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤に浸した布を絞って拭き、その後やわらかい布で乾拭きしてください。
・ご使用後は、日陰の通気性の良い場所で乾かしてください。濡れたまま放置されますと、塗装はがれ、カビの原因となります。
・座シート（メッシュシートを除く）は取り外して洗えます。
・車輪にほこりがつくと、きしむ事があります。その際は、ミシン油を少量注油してください。むやみに注油されますとほこりが付きやすくなり、汚れますのでご注意ください。

⚠注意

※お手入れをされていても、カビが発生する場合があります。
※塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがの原因となります。
※直射日光に当てないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。また、退色するおそれがあります。
※熱湯をかけないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。
※アイロン、乾燥機の使用はおやめください。

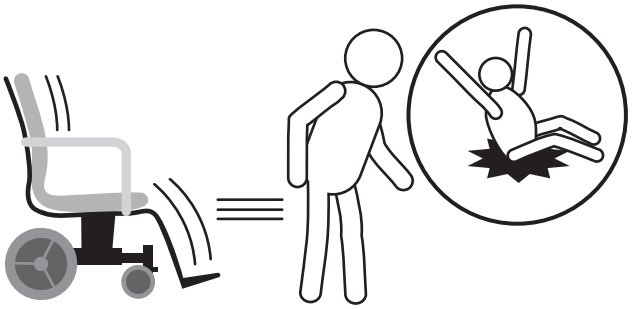
⚠ 安全上の注意事項

⚠ 注意

●シートの前端部やアームレストの上に腰掛けないでください。
転倒してけがをするおそれがあります。
　また、座ったままフットプレートに強く重心をかけないでください。本体ごと転倒するおそれがあり、大変危険です。

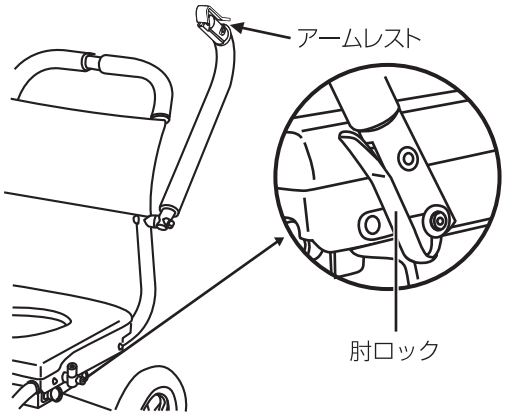
⚠ 注意

●乗り降りされる際は、必ず車輪をロックして本体を固定し、座シートの位置を確かめてからお座りください。
　また、フットプレートに足をかけて乗り降りしないでください。本体ごと転倒するおそれがあり、大変危険です。



⚠ 注意

●アームレストをはね上げたままで使用しないでください。
ご使用の際は、アームレストを必ずロックしてください。
ロックがされていないとアームレストが外れるおそれがあり、危険です。
　また、肘ロックを操作する際は、指詰めにご注意ください。

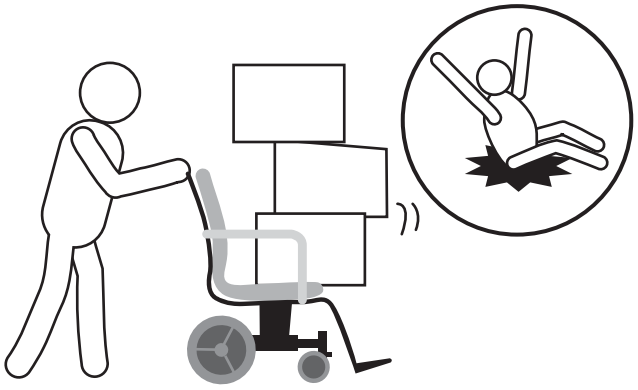


⚠ 注意

●座っている時に体を強く緊張または硬直されますと、本体に後ろ向きの力が加わり、本体ごと後方や横に転倒するおそれがあります。
　また、座ったまま足を前に投げ出し、浴槽の縁に足を乗せる等されますと、転倒するおそれがあります。介助者は、ご利用者の状態を常に見届けてください。**座位保持が難しい方のご使用はご遠慮ください。**

⚠ 注意

●人以外の運搬に使用したり、踏み台の代わりとして座シートの上に立つなど、本来の用途以外で使用しないでください。
けがや故障の原因となります。



⚠ 注意

●ボルトやネジがゆるんでいる状態や、座シートがぐらついたり、異音を発している状態のままで使用をしないでください。
本体が壊れ、けがをするおそれがあります。この場合は、すぐに使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠ 安全上の注意事項

使用上のご注意　安全のため必ずお守りください

- 本製品は、室内専用です。屋外では使用しないでください。
- 本製品を浴槽に沈めての使用（中間浴）はしないでください。
- 温泉の泉質によっては、塗装がはがれたり、樹脂の劣化や金属部の腐食が発生し、破損、けがの原因となりますので、ご注意ください。
- 『シャワーラク』は、10cmを超える段差では使用しないでください。
- 『シャワーラク4輪自在』は、段差のあるところでは使用をしないでください。
- 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
  - ・戸外
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・冷暖房器の冷気や熱気が直接当たる場所
  - ・ストーブなど火気の近く
  - ・高温多湿、低温な場所
  - ・風通しの悪い場所
- 本製品を本来の目的以外で使用されたり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損・事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- Pタイル、フローリングなど、硬質な滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
- 石鹸やシャンプーを使用した床面や濡れている床面では、車輪を固定しても本体が動く場合があります。
- 座シートを取り付けずに座受けに直接座らないでください。
- 本体を持ち上げる際に、アームレスト、フットレスト、脚ベルトなどを持たないでください。
- ハンドルに重いものを引っ掛けないでください。転倒するおそれがあります。
- 背シートのマジックテープを確実に固定してください。
- 背シートを取り外して使用しないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 背シートのマジックテープを頻繁に取り外さないでください。接着力が弱まり、不意に外れ、転倒、けがをするおそれがあります。
- 石鹸やシャンプーを使用した際は、必ず洗い流してからお乗りください。滑って転倒、けがをするおそれがあります。
- 乗り降りされる際は、アームレストや座面の片側だけに手をついたり、アームレストを手すり代わりにして、横方向に力をかけないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 乗り降りされる際は、必ずフットプレートをはね上げてください。フットプレートの上にのって乗り降りをすると、転倒、破損の原因となります。
- 乗り降りや使用時は、平坦な場所で行ってください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 傾斜のある場所では駐車しないでください。ロックをかけても動く場合があります。
- 走行中はフットプレートに足を必ず乗せてください。けがをするおそれがあります。
- 片側だけに無理な荷重をかけないでください。破損、転倒、けがのおそれがあります。
- 座面やフットプレートの高さ調整後は、必ずノブナットをしっかりと締めてください。
- 座面高さ調節ネジは、4本とも同じ位置で締め、座面高さが同じになるようにしてください。
- 車輪を固定したまま押さないでください。破損、故障のおそれがあります。
- ご利用者がハンドルを支えにしての移動や、立ち上がりはしないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 1ヶ月に一度は定期点検を実施してください。

商品廃棄方法

各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

オプション品のご案内

●シートベルト(フリータイプ、本体取付タイプ)
・車いすからの転落や姿勢がくずれるのを防ぎます。

フリータイプ

本体取付タイプ

●ヘッドレストA
・頭を支える事で姿勢が安定します。
・高さ調節、前後奥行調節、上下左右全方向角度調節可能で、ご利用者の状態に合わせることができます。

●前倒れ防止バー
・座位保持がしやすくなり、前に倒れるのを防ぎます。
・ロック解除ボタンを押すだけで、簡単にバーが外れます。

⚠注意

※詳しくは、各オプションの取扱説明書をご覧ください。

Memo